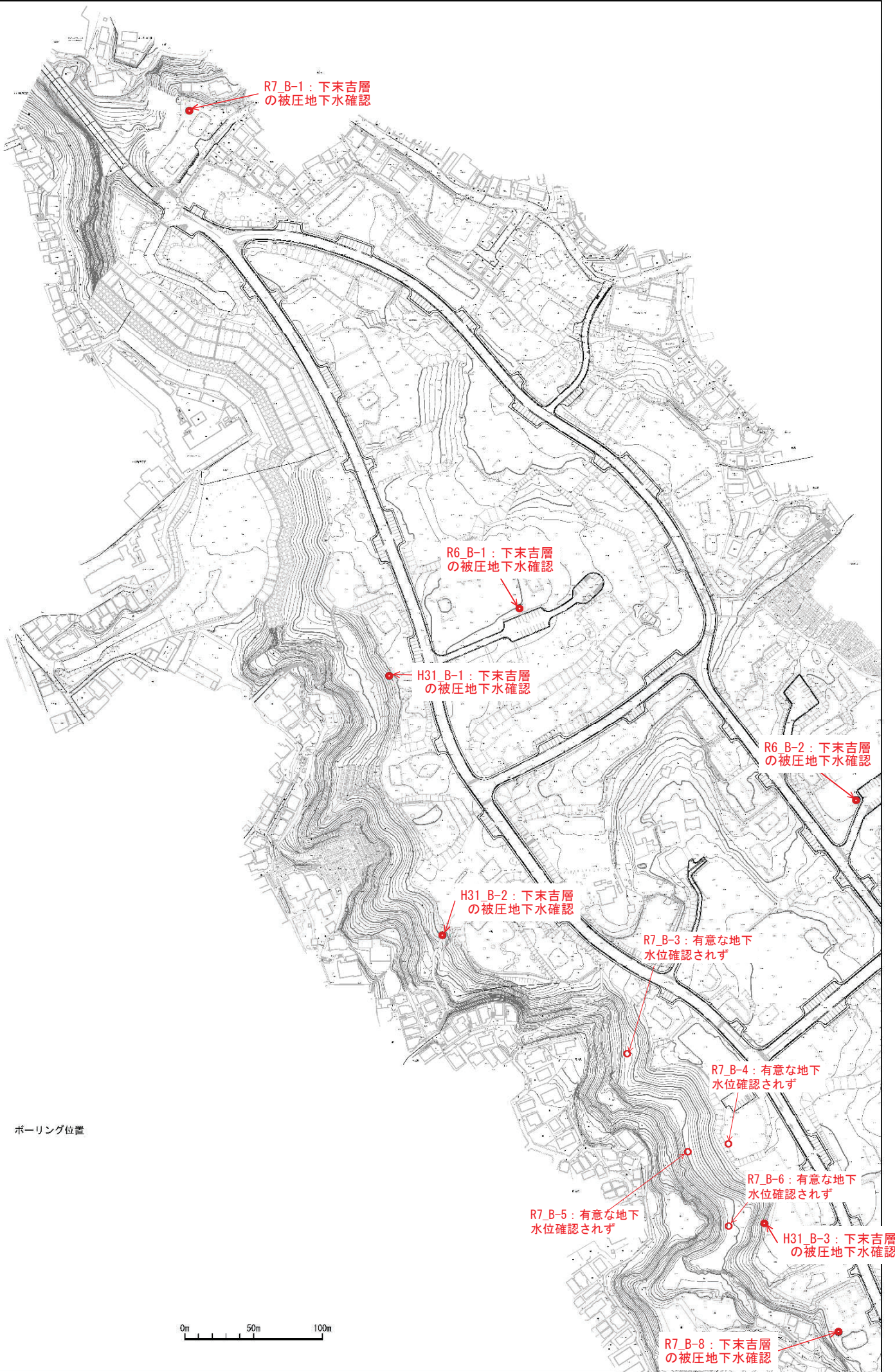
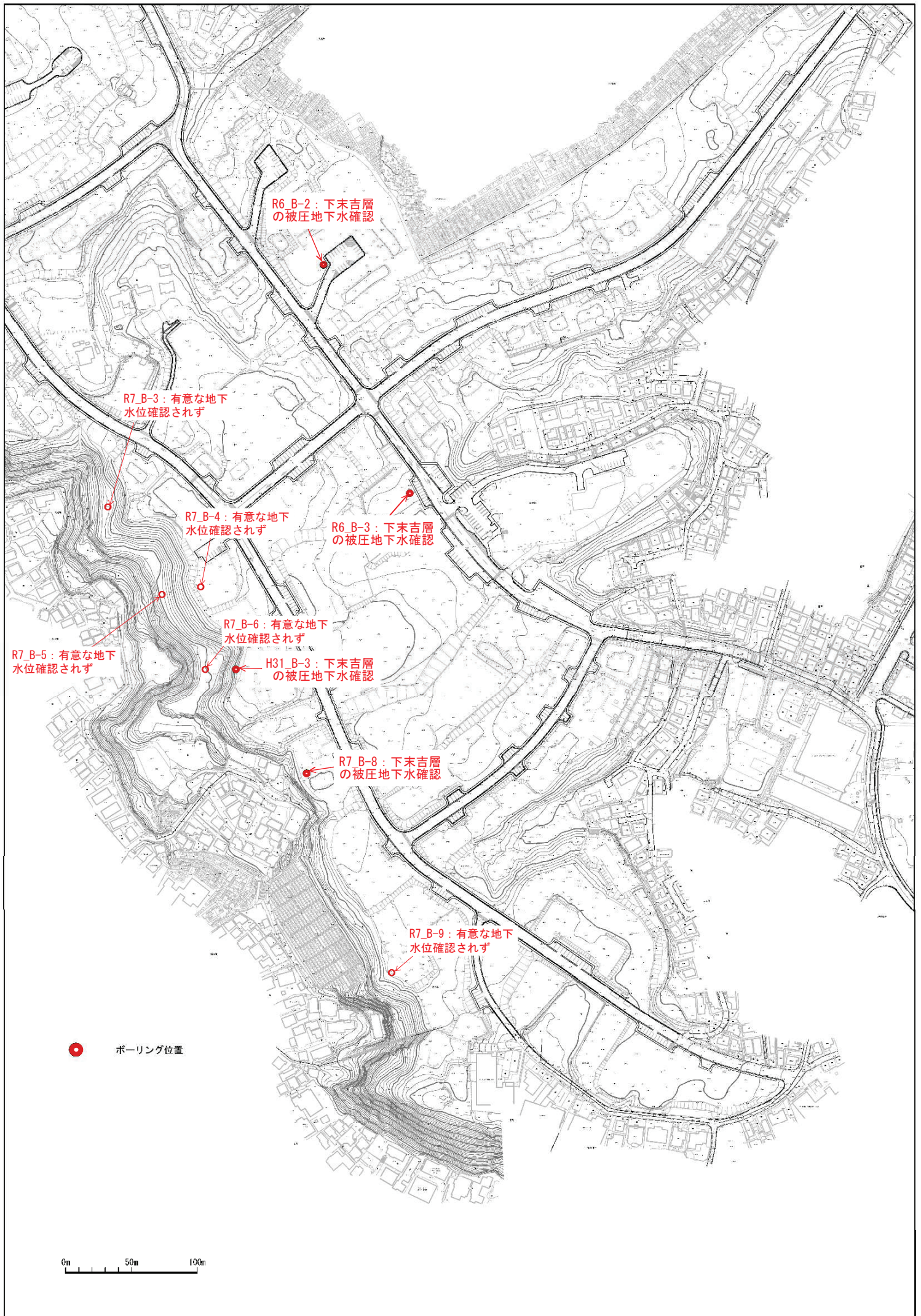


## 2 ボーリング柱状図および位置図資料





# ボーリング柱状図

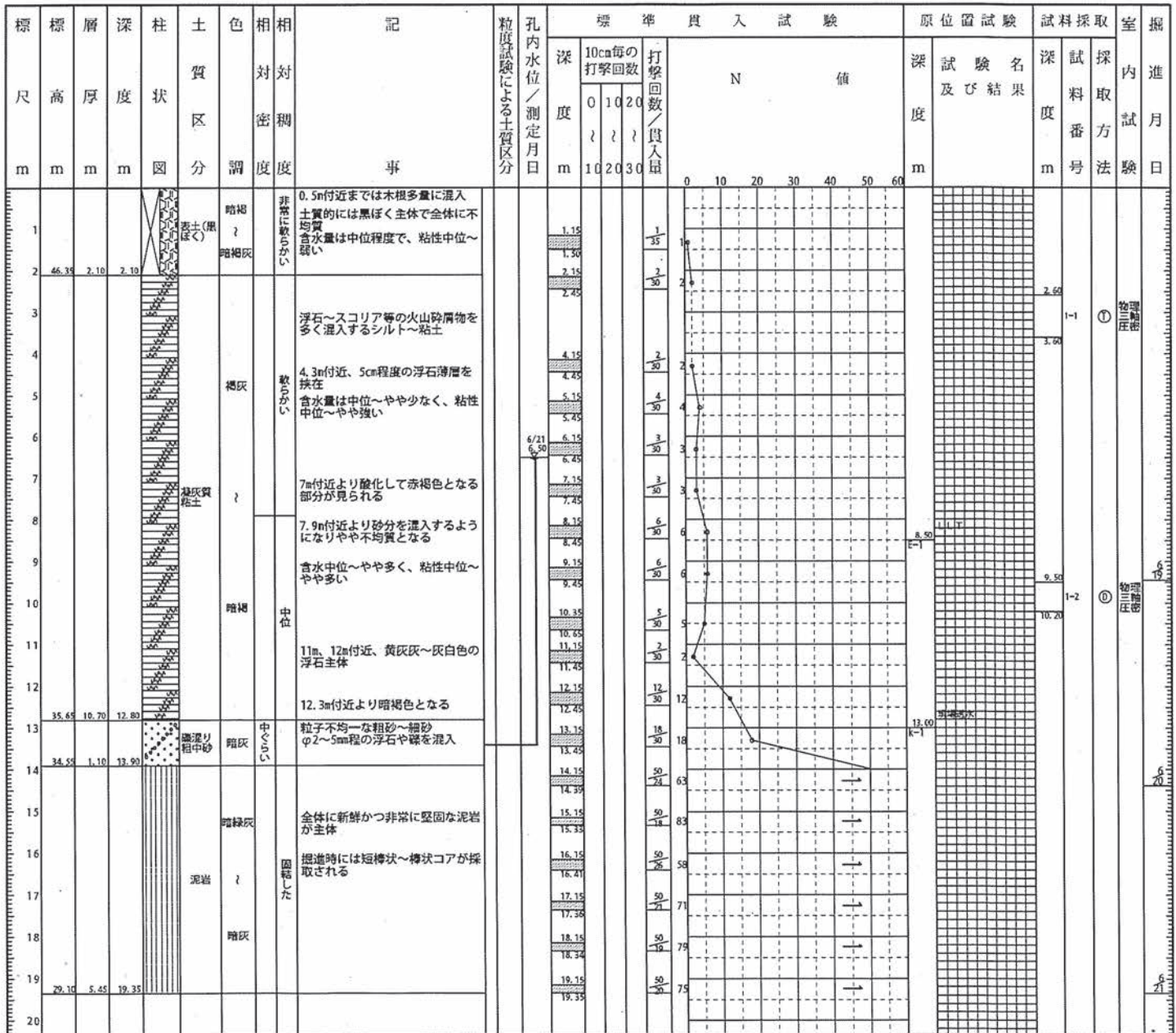
調査名 平成31年度磯子区馬場町地内地質調査委託

ボーリング №

事業・工事名

シート №

ボーリング名	No. B-1	調査位置	横浜市磯子区上町地内
発注機関	横浜市政策局基地対策課	調査期間	2019/6/14~2019/6/25
調査業者名	株式会社横浜ソイルリサーチ	主任技師	現代理人
電話		コ 監 定 者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 48.45m	角	180° 上下 0°
総掘進長	19.35m	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
		地盤勾配	32° 鉛直 90°
		使用機種	試錐機 YBM-05 エンジン ヤンマーNFD9-EK
		ハンマー落下用具	半自動型
		ポンプ	東邦地下工機BG-3C



備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー      Tr: トリプルサンプラー
- : 標準貫入試験用サンプラー      A: オーガー
- D: デニソン型サンプラー







# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 令和6年度根岸住宅地区跡地利用の環境影響評価に関する環境調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 環境

ボーリング名	B-2	調査位置	根岸住宅地区内 (横浜市中区区越)	北緯	
発注機関	横浜市都市整備局基地対策課	調査期間	2025年 3月 21日 ~ 2025年 3月 26日	東経	
調査業者名	日本工営都市空間株式会社	主任技師	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇	現場代理人	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
電話	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	コア鑑定者	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
ボーリング責任者	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇	試験機	YBM-05DA2	ポンプ	HP504
孔口標高	T.P. 53.28m	方位	北0° 東90° 南180° 西270°	エンジン	TF120M
総掘孔長	19.44m	角度	180° 90° 0°		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日				
													深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量							
0	52.88	0.40	表土(雑草じり砂質シルト)			淡褐色		rc1	更新世		植物根多量に混入。	03/27 6.18	0	1	2	2	5	300				3/21		
1				関東ローム		淡褐色		rc2			含水中位。粘性中位。砂分は細～中砂。斑状に暗褐色～黒褐色を呈する。関東ローム。		5	1	2	2	5	300						
2													5	2	4	4	8	300						
3													8	2	2	4	8	300						
4													14	4	4	6	14	300						
5	48.28	5.00											14	4	4	6	14	300						
6				砂混じりローム		暗褐色～黒褐色		rc2	更新世		含水やや低位。粘性弱い。砂分は中砂。斑状に黒褐色を呈す。GL-6m付近、未炭化した腐植物少量混入する。層状下部、遊風化した褐灰色の軽石くさり礫を含む。		9	3	2	4	9	300						
7													6	2	1	3	6	300						
8													6	2	2	2	6	300						
9													6	2	2	2	6	300						
10	43.03	10.25		砂質シルト		暗褐色～青灰色		rc2			含水少ない。粘性弱い。軽石のくさり礫を含む。		5	1	2	2	5	300						
11	42.28	11.00											5	1	1	1	3	300						
12				砂混じり火山灰質シルト		暗褐色～緑灰色		rc2			含水中位。粘性中位。砂は細～中砂。斑状に黒褐色を呈す。GL-12m付近、含水やや多くなる。GL-14m付近、含水やや少くなる。GL-16m付近、指定で崩れる砂～6mm程度のくさり礫少量含む。GL-18m付近、未炭化した腐植物少量混入する。層状下部、含水やや多くなる。		3	1	1	1	3	300						
13													3	1	1	1	3	300						
14													6	2	2	2	6	300						
15													6	2	2	2	6	300						
16													15	2	5	8	15	300						
17	36.43	16.85		シルト質砂		淡褐色～暗褐色		rd3			含水中位。砂は中～粗砂主体。シルト分をブロック状に含む。指圧で崩れるくさり礫を少量含む。層上部、含水多い。GL-18m付近、やや有機質シルトの薄層を挟み、炭化した植物片混入する。層下部含水やや少なくなり、砂主体となる。		7	2	2	3	7	300						
18	34.58	18.70											3	1	1	1	3	300						
19	33.84	19.44		泥岩		緑灰色		re5			固風化した泥岩。固結シルト状。全体に微細砂を少量含む。		24	7	8	9	24	300						
													52	15	15	24	50	290						
													52	15	15	24	50	290						



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和7年度根岸住宅地区地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No. B-1	調査位置		北緯	35° 25' 46.7500"
発注機関	横浜市都市整備局	調査期間	2025/ 8/26~2025/ 8/27	東経	139° 37' 29.5400"
調査業者名	株式会社 山地下地質コンサルタント	主任技師		現場	
電話		現代理人		コ	
孔口標高	TP 46.03m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 90° 東 180° 南
総削孔長	15.39m	度	0°	向	北 0° 90° 東 180° 南
		地盤勾配	始	使用	試験機 DO-C
			90°	機種	エンジン NFD-10
					ポンプ BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日				
											深度 (m)	N 値	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)			採取方法			
	45.33	0.70	表土	表土	礫層	rc1			上層50cmは礫、ガラを含む粘性土 下部は有機質ローム	8/27 5.91	6	1.15	1	2	3	6	300	1.50	ID-1	③	管理		
			ローム	ローム	茶褐色	rc2			全体に浮石、スコリアが点在する均質な火山灰質粘性土 含水は中位~やや多く粘性を有する 1.5~1.9m間はやや粘土化した浮石薄層 2.1m完全透水		2	3.15	1	1	2	2	320	2.40					
	42.23	3.80									3	4.15	1	1	1	3	330	4.50	ID-2	④	管理		
			凝灰質粘土	凝灰質粘土	茶褐色	rc2			全体に粘土化した浮石、スコリア等の火山砕屑物を含むやや不均質な粘土・シルトが主体 含水は浮石を多く含む所では多く、その他では中位である 粘性は中~やや大きい 5.5m付近に完全透水する		2	5.15	1	1	2	2	310	5.40					
			凝灰質粘土	凝灰質粘土					7.5~9.5m間は粘土化した浮石が主体である		2	7.15	1	1	2	2	320						
	37.83	8.20							やや風化・粘土化した浮石でスコリアを含みほぼ均質 含水量やや多く粘性は弱い		2	8.15	1	1	2	2	310						
	36.73	6.30	浮石	浮石	淡黄灰	rc2			浮石、スコリアを含む粘性土で5cm程度の細砂を互層状に含む 中粒程度の浮石を含む粒子の不均一な粗中砂~細砂 若干シルト分を含む		1	9.15	1		1	450							
	36.18	9.85	凝灰質粘土	凝灰質粘土	茶褐色	rc2					10	10.15	3	3	4	19	350						
			中細砂	中細砂	暗褐色	rd2					11	11.15	8	10	14	32	350						
	35.13	10.80							上部11.3m付近までは茶褐色の細砂薄層を挟む		12	12.15	9	13	21	43	350						
			固結シルト	固結シルト	暗灰	rc4			全体には含水量、粘性は少なく暗灰色のほぼ均質な固結シルト		13	13.15	14	17	19	50	280						
	32.78	13.25							ほぼ均質で含水、粘性の少ない新鮮なシルト岩~砂泥りシルト岩で固結して硬いクラックも少なく100%長い棒状コアとなる 14.25m付近に浮石及び微細砂薄層を挟む		14	14.15	17	21	12	50	230						
			泥岩	泥岩	暗灰	rc5					15	15.15	16	20	14	50	240						
	30.84	15.39									16	16.15											

株式会社山地下地質コンサルタント

# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 令和7年度根岸住宅地区地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	No.B-3	調査位置			北緯	35° 25' 24.5400"		
発注機関	横浜市都市整備局		調査期間	2025/ 9/11~2025/ 9/18		東経	139° 37' 42.2000"	
調査業者名	株式会社 山下地質コンサルタント		主任技師	[Redacted]		現場代理人	[Redacted]	
電話	[Redacted]		試験機	KR-SH-1		コア採取者	[Redacted]	
TP	42.43m		エンジン	TF-9		ポンプ	V5-P	
総削孔長	9.45m		角	180°		度	0°	
	方		北 0°		東 90°		西 180° 南	
	地盤勾配		23°		水平 0°		鉛直 90°	
	使用機種							

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 度 調 度 度	相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日	
											深 度 - N 値 図					深 度 (m)	試料番号			採取方法
1	40.83	1.60	表土	表土	砂	緑褐色	rc2		木根、細礫を含む有機質ローム不均質で含水量少なく粘性も弱い。1.3m付近より砂質ローム。		1.15	1	1	2						
2	39.28	2.45	有機質ローム	有機質ローム	砂	黒褐色	rc2		ほぼ均質な腐植質ローム、含水量少なく粘性も弱い。浮石・スコリアが点在。		1.45	190	110	300						
3	38.43	4.00	ローム	ローム	砂	茶褐色	rc3		風化した浮石やスコリアを含む均質な火山灰質粘性土。含水量中位で粘性を有する。3mで透水する。		2.15	1	2	1	4					
4	36.43	6.00	凝灰質粘土	凝灰質粘土	粘土	茶褐色	rc3		上部は半固結状でやや砂質、下部は浮石混りのシルト・粘土質な軟弱粘性土。		2.45	1	2	2	5					
5	36.05	6.35	浮石	浮石	粘土	黄褐色	rc3		浮石・スコリアを含みやや相変化、強度変化する。含水量は中位~やや多く粘性を有する。		2.45	200	300							
6	35.18	7.25	シルト質細砂	シルト質細砂	砂	黄褐色	rd5		やや風化した浮石層層で含水量は中位で粘性は弱い。		5.15	1	1	2						
7	32.28	9.45	泥岩	泥岩	砂	黄褐色	rc4		ほぼ均質で含水量、粘性性の少ないシルト岩~砂混りシルト岩。全体としては暗灰色で新鮮な泥岩であるが最上部と8.45~9m間は亀裂面に沿って黄褐色となる。9m以降は暗灰色で硬質なシルト岩であるもののN値が若干低下する。		6.15	1	1	4	6					
8											7.15	6	15	29	50	280				
9											7.45	6	15	29	50	280				
10											8.15	12	18	20	59	270				
11											8.42	10	14	17	41	300				
											9.15	10	14	17	41	300				
											9.45									

地下水位確認されず

株式会社山下地質コンサルタント



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和7年度根岸住宅地区地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	No.B-5	調査位置	北緯	35° 25' 22.2500"
発注機関	横浜市都市整備局	調査期間	東経	139° 37' 43.9600"
調査業者名	株式会社 山地下地質コンサルタント	主任技師	現場	コア
電話	TP	現代理人	測定者	ボーリング責任者
孔口標高	41.12m	試験機	KR-SH-1	第
総削孔長	8.41m	エンジン	TF-9	ポンプ
角	180°	方	北 0°	度
上	90°	方	東 90°	度
下	0°	方	南 180°	度
度	0°	方	西 270°	度
地盤勾配	36°	水平	0°	度
使用機種				

標尺	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 度	相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日
											深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料採取方法		
		40.32	0.80	表土	暗褐	rc1			粗礫、草根様を含む不均質で締りの悪い粘性土 含水、粘性共に少ない	9/26									
1				凝灰質粘土	赤褐	rc2			全体に浮石・スコリアを含むやや不均質な火山灰質粘性土 上部はやや砂質である	9/23									
2				黄褐灰					2.2m及び3.3m付近に浮石層を挟在する 含水量は中位~やや多くで粘性も中位である										
3				赤褐	rd3				微細砂、シルト分を含む細砂 浮石を含むやや均質 含水は中位で粘性は弱い										
4		37.27	3.85	シルト質細砂	暗褐灰	rc4			均質なシルトを主とし半固結状で亀裂面は暗褐色										
5		36.17	4.83	固結シルト					ほぼ均質なシルト岩~砂混りシルト岩で暗灰~暗青灰色な新鮮な泥岩 含水量、粘性共に少なく固結して硬い 一般にL=10~20cmの棒状コアが100%採取される 一部シマ状に淡褐色部の薄層を挟在する										
6		35.02	5.50	泥岩															
7																			
8																			
9																			
10																			

有意な地下水位確認されず（溜水を確認）

株式会社山地下地質コンサルタント



# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 令和7年度根岸住宅地区地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.B-8	調査位置	根岸住宅地区(Jエリア)	北緯	35° 25' 17.9400"
発注機関	横浜市都市整備局	調査期間	2025/ 8/29~2025/ 9/ 1	東経	139° 37' 48.3300"
調査業者名	株式会社 山地下地質コンサルタント	主任技師		現場	
電話				コ	
角	180°	方	北 0°	ア	
上	90°	方	東 90°	定	
下	0°	方	南 180°	者	
度	0°	方	西 270°	ボ	
孔口標高	45.36m	地盤勾配	3°	ー	
総削孔長	14.41m	使用機種	DO-C	リ	
		エンジン	NFD-10	ン	
		ポンプ	BG-3C	グ	
				責	
				任	
				者	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日	
											深度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号				
	44.85	0.50	表土	表土	礫層			rc2	有機質ロームが主体で少量の礫ガラを混入する 全体に風化した浮石やスコリアが点在するほぼ均質な火山灰質粘性土 含水量は中位~やや多く粘性を有する	8/23 8/40	1.15	2	2	2	8	1.50	60-1	③		
			ローム	ローム	茶褐色			rc2	3m以深は砂分がやや多く不均質である 湧水が激しい		1.45					2.35				
	41.45	3.50			黄茶褐色				全体に浮石・スコリア等の火山物質を多く含むシルト質粘土		3.15	1	1	1	3					
			黄灰	黄灰	黄灰			rc2	土質的にはやや不均質な火山灰質粘性土で一部に炭化物や有機物を混入する		3.41									
			黄灰	黄灰	黄灰			rc2	6m付近より風化・粘土化した浮石薄層をかなり多く含む浮石質粘土		4.15	1	1	1	3	4.50	60-2	③		
			黄灰	黄灰	黄灰				7m付近まで湧水が激しい		6.15	1	1	1	3	5.40				
			黄灰	黄灰	黄灰						6.48									
			黄灰	黄灰	黄灰						7.15	2	2	2	6					
			黄灰	黄灰	黄灰						8.15	2	2	2	6					
			黄灰	黄灰	黄灰						8.45									
	36.65	8.70	砂質シルト	砂質シルト	黒褐色			rc4	全体に腐植質シルトが主体で浮石や木片細礫を含む不均質粘性土		9.15	5	5	5	20					
	36.21	9.15	シルト質細砂	シルト質細砂	暗灰			rd2	全体に浮石や腐植砂、シルト分を多く含む粒子不均一な細砂		9.45									
	35.55	9.80	シルト	シルト	暗灰			rc4	ほぼ均質な半固結状のシルト~砂混りシルト 含水量、粘性共に少なくやや硬質泥岩の風化部と考えられるがいずれも暗灰色を呈する		10.15	6	6	6	23					
			シルト	シルト	暗灰						10.45									
			シルト	シルト	暗灰						11.15	10	12	14	36					
	33.76	11.60	シルト	シルト	暗灰						11.45									
			シルト	シルト	暗灰						12.15	13	18	19	50	270				
			シルト	シルト	暗灰						12.42					70	270			
			シルト	シルト	暗灰						13.15	11	15	23	50	200				
			シルト	シルト	暗灰						13.44					90	250			
			シルト	シルト	暗灰						14.15	14	17	19	50	260				
	30.85	14.41	泥岩	泥岩	暗灰			rc5	クラックも少なく長い棒状コアが100%採取される		14.41									

株式会社山地下地質コンサルタント

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和7年度根岸住宅地区地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.B-9	調査位置	根岸住宅地区(Kエリア)	北緯	35° 25' 13.0400"
発注機関	横浜市都市整備局	調査期間	2025/ 8/ 4~2025/ 8/ 6	東経	139° 37' 50.8800"
調査業者名	株式会社 山地下地質コンサルタント	主任技師	〇〇〇〇	現場	〇〇〇〇
電話	〇〇〇〇	現代理人	〇〇〇〇	コ	〇〇〇〇
ボーリング	責任者	〇〇〇〇	第	〇〇	号
孔口標高	TP 47.17m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	20.45m	地盤勾配	0° 鉛直 90°	使用機種	試験機 KR-SH
				エンジン	NFD-9
				ポンプ	V-5P

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対対密度調度	相対稠密度	相対稠密度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取		室内試験	削孔月日			
											深度 (m)	N 値	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)			試験番号		
	47.00	0.15	盛土	盛土	雑土				幹石を多く含む粘性土。草根混入	8/5	0	1.15	1	1	2	4	350	1.45	90-1	①	物理三軸	
1				茶褐色	rc2				全体に風化・粘土化した浮石やスコリア等の火山物質を含む粘性土		4	1.45						2.35				
2				ローム	rc2				土質的にはほぼ均質なロームで下部ではやや粘土化したローム													
3				暗茶褐色	rc2				含水量は中位~やや大で粘性は中~強い。3.7m付近はやや粘土化した浮石薄層を挟む		2	3.15	1	1	2	350	3.70	90-2	①	物理三軸		
4												3.45					4.55					
5	42.47	4.70	凝灰質粘土	凝灰質粘土	rc2				浮石・スコリアを含む火山灰質な粘土~粘土質シルトで上部は比較的均質		1	5.15	1	1	1	350	7.00	90-3	①	物理三軸		
6				黄褐色	rc2				含水量は中位~やや多粘性もやや強い。6.3m付近より浮石が多くなる		4	5.45										
7	40.37	6.80	浮石	浮石	rc2				風化・粘土化した黄灰色~乳白色の軟質な浮石層		3	6.15	1	2	1	4	350	7.85				
8	39.47	7.70	凝灰質粘土	凝灰質粘土	rc2				浮石・スコリアを含む火山灰質粘性土でやや不均質である		11	7.15	1	1	1	3	350					
9				黄褐色	rc3				含水やや多く粘性を有する		3	7.45										
10				黄褐色	rc3						3	8.15	5	2	4	11	350					
11	35.97	11.20	シルト質微細砂	シルト質微細砂	rd2				浮石・薑母片を含みシルト・粘土分の多い微細砂		3	9.15	1	1	1	3	350					
12	35.52	11.65	砂質シルト	砂質シルト	rc5				やや硬質な砂質シルト~粘土質シルト		3	9.55										
13	34.47	12.70	固結シルト	固結シルト	rc5				ほぼ均質な固結シルトで相変化は少ない。含水量は少なく粘性も弱い。最上部は黄褐色を示すが13.50m付近より暗灰色となる		3	10.15	1	1	1	3	350					
14				黄褐色	rc5				全体としてN値も28~43と変化し、固結度にややバラツキを有する		35	10.45										
15				黄褐色	rc5				全体に含有物は薑母片を除いて少ないが所により炭化木片や浮石、微細な貝殻片を混入する		28	11.15	1	1	1	3	350					
16				黄褐色	rc5						28	11.45										
17				黄褐色	rc5						15	12.15	4	5	6	15	350					
18				黄褐色	rc5						12.45											
19				黄褐色	rc5						35	13.15	10	12	13	35	350					
20	26.72	20.45		黄褐色	rc5						13.45											
21				黄褐色	rc5						28	14.15	9	9	10	28	350					
22				黄褐色	rc5						14.45											
				黄褐色	rc5						38	15.15	11	13	14	38	350					
				黄褐色	rc5						15.45											
				黄褐色	rc5						28	16.15	8	8	12	28	350					
				黄褐色	rc5						32	16.45										
				黄褐色	rc5						32	17.15	8	11	13	32	350					
				黄褐色	rc5						43	17.45										
				黄褐色	rc5						43	18.15	13	15	15	43	350					
				黄褐色	rc5						29	18.45										
				黄褐色	rc5						29	19.15	9	10	10	29	350					
				黄褐色	rc5						37	19.45										
				黄褐色	rc5						37	20.15	10	12	15	37	350					
				黄褐色	rc5						37	20.45										

有意な地下水位確認されず（溜水を確認）

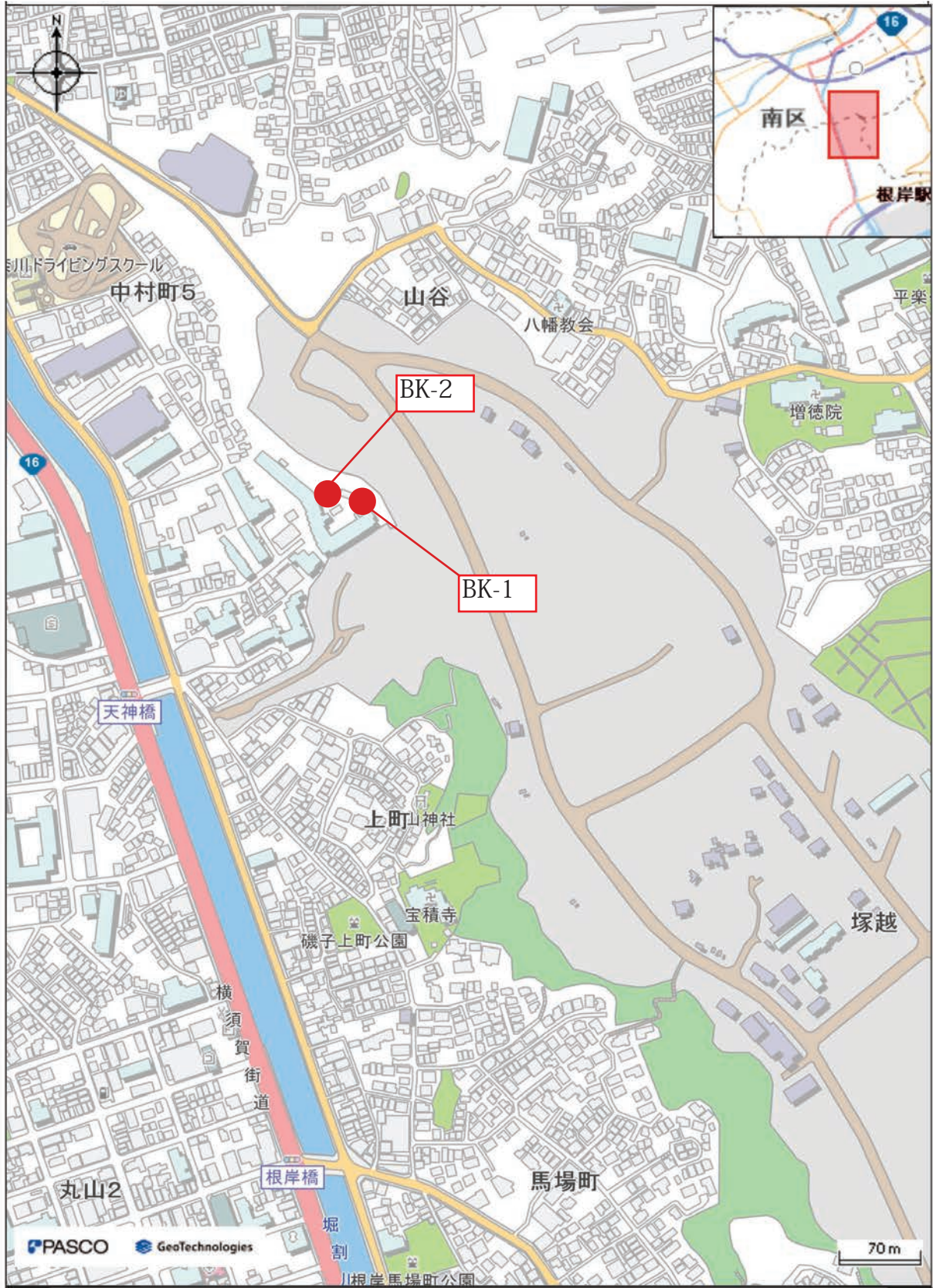
株式会社山地下地質コンサルタント

# 根岸住宅地区隣接崖地崩落対策報告書

平成11年5月

根岸住宅地区隣接崖地崩落対策委員会  
(財)防衛施設技術協会

# ボーリング位置図



地質調査一覧表

地点名称	BV-1(鉛直)		BV-2(鉛直)		BV-3(鉛直)		BV-4	BK-12	BH-1	BH-2	BH-3	CH 6本	CH-67	CH-910
名称	BV-1	W-1	BV-2	W-2	BV-3	W-3	鉛直	鉛直	水平	水平	水平	水平	水平	水平
全長 [m]	50.0	33.0	50.0	34.5	50.0	19.0	50.0	10.0	20.0	20.0	15.0	5.0	5.0	3.0
孔径 [mm]	φ86	φ66	φ86	φ66	φ86	φ66	φ66	φ66	φ66	φ66	φ66	φ86	φ86	φ86
地盤高 [m]	56.5	56.5	56.3	56.3	55.3	55.3	56.0	-	-	-	-	-	-	-
コア採取	○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
ホアホウ	○		○		○		○		○	○	○	○		○
地中レーダー	○		○		○									
地下水検層		○	○											
透水試験														○
孔内水平載荷試験			○											
PS検層	○				○									
土質・岩石試験	○		○	○	○		○							

凡 例

- ◆ 鉛直ボーリング ( BV-1~BV-4 < W-1~W-3 > )
- 水平ボーリング ( BH-1~BH-3 )
- 基礎地盤調査ボーリング ( BK-1~BK-2 )
- △ 吹付コンクリートコア抜き調査 ( CH-1~CH-10 )
- 吹付法面はつり調査 ( C-1~C-9 )

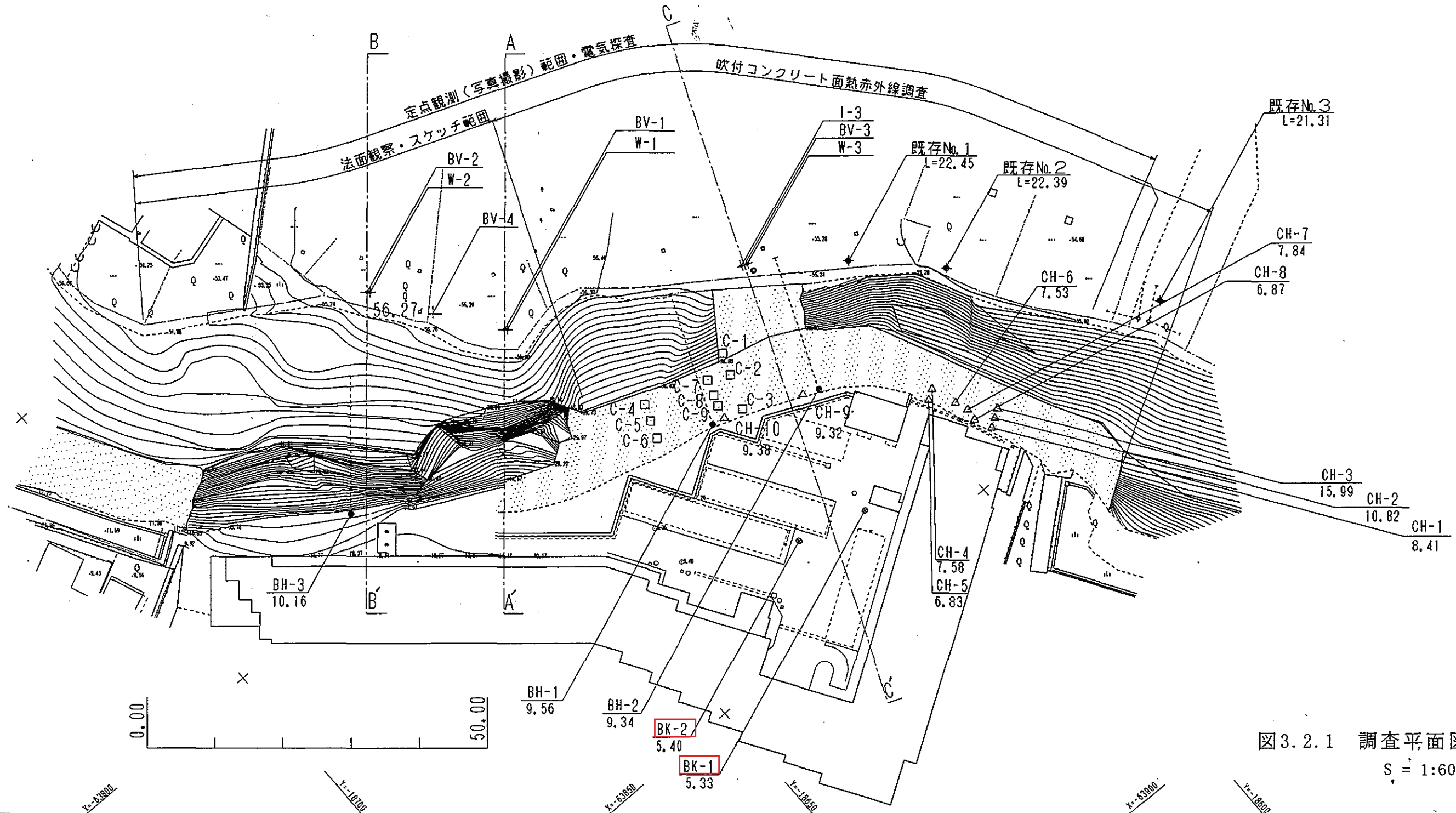
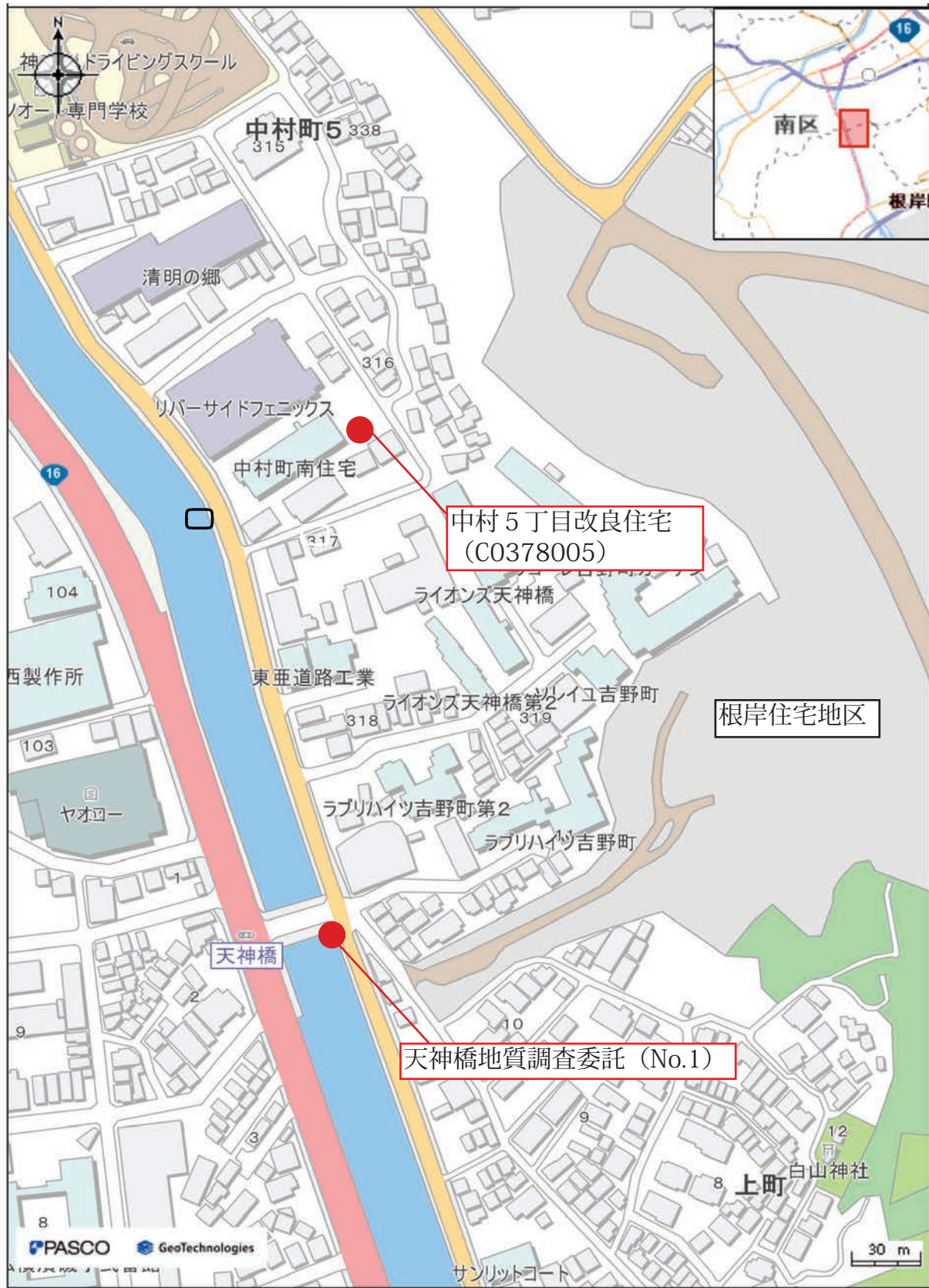


図3.2.1 調査平面図  
S = 1:600





# ボーリング位置図



# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名

事業名または工事名 中村町5丁目改良住宅(仮称)第1期新築工事に伴う土質調査業務

調査目的及び調査対象

ボーリング名	C0378005	調査位置	横浜市南区中村町5丁目316番地			北緯	35°25'41"
発注機関	横浜市建築局	調査期間	平成15年09月20日~平成15年09月20日			東経	139°37'25"
調査業者名	日本総合技術開発	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	T.P. 3.51 m	角			方位	地盤勾配	使用機種
総削孔長	3.31 m	度			試錐機	YBM-05DA-2	
					エンジン	ヤンマー NFD10-M	ポンプ 東邦地下工機 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位/測定年月日	標準貫入試験										室内試験	削孔月日			
											N値	深	10cmごとの打撃回数			50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試料採取	採取					
									事		値	(m)	0	10	20	30	40	50	貫入量	(m)	番号	方法			
1	3.11	0.40	盛土	盛土	暗褐/暗青灰	非常な密な	固結した		全体に粘性土主体。所々コンクリートガラ、木根混る。シルトは固結状。含水小~中位。粒子均一。所々炭化物混入。所々砂質固結シルトとなる	3.05	71	1.15	21	25	4	50	21								
2	2.21	1.30	シルト質細砂	シルト質細砂	暗緑灰						50	1.36	16	14	20	50	30								
3	0.14	3.37	泥岩	泥岩					含水小位。全体に均質。棒状コアにて採取。所々炭化物混る		68	2.45	19	24	7	50	22								
												3.15													
												3.37													

ボーリング柱状図については、国土地盤情報データベースの一般公開資料です。(https://ngic.or.jp/)

# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名

事業名または工事名 天神橋地質調査委託

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.1	調査位置	磯子区丸山一丁目2番地先から上町11番地先まで			北緯	35°25'34.3"
発注機関	横浜市道路局建設部橋梁課			調査期間	平成21年01月19日～平成22年02月05日		
調査業者名	株式会社 北海ボーリング 電話(045-864-1441)	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	T.P. -1.38 m	方位	試験機	カノーKR50C			
総削孔長	12.25 m	角度	エンジン	ヤンマー製 NFAD-12	ポンプ	カノー-V5	

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					試験深度 (m)	採取番号	室内試験	削孔月日	
									N値	深10cmごとの打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試験採取方法					
-1.88	0.50	シルト混り砂	暗灰	暗灰	rc2	固結した	混雑する。ヘドロ、木片、泥岩(径30mm位)、貝殻片等混じる。粘性少しあり		11	1.15	1	1	9	11				
-2.73	1.35	シルト	暗灰	暗灰	rc2	固結した	砂分多く混じる。泥岩(径5mm位)混在する。亀裂多く径50mm位の礫状になる。亀裂間に粘土充填。全体に少量の砂、微量の軽石混じる。		75	2.35	16	34	50	20				
-3.58	2.20	風化泥岩	暗灰	暗灰	rc2	固結した	3.00m以深均質、長さ10～15cm位の棒状コアになる所多い。3.23～4.00mコアバックチューブサンプリング(RQD58%、3.95m付近コアに貝殻片混入)。4.00m付近より所々細かい亀裂あり。		188	3.15	50	8	50	8	3.23	1-1	CP	一軸,三軸,含水量,密度
-6.88	5.50	泥岩	暗灰	暗灰	rc2	固結した	4.15mベネ試料砂分多く混じり強指圧で砂化する。4.27～5.00mコアバックチューブサンプリング(RQD54%、4.50m付近コア縦薄板状割れる)。		125	4.15	33	17	50	12	4.00			
		凝灰質泥岩	暗灰	暗灰	rc2	固結した	5.25～5.50m凝灰質泥岩脈状、ブロック状(貝殻混り)に入る。5.25～6.00mコアバックチューブサンプリング(RQD100%、全体に均質)。		150	5.15	50	50	50	10	5.25	1-2	CP	一軸,三軸,含水量,密度
			暗灰	暗灰	rc2	固結した	7.00m付近シルト分多く混じる。7.55m付近より礫状コアに砂レンズ状に換層所あり。8.00m付近シルト分多くコアに少し粘性あり。		214	6.15	50	7	50	7	6.00			
			暗灰	暗灰	rc2	固結した	9.00m付近より暗灰色になる。9.40～9.60m砂と互層状(5～10cm位ずつ)。		375	7.15	50	4	50	4				
			暗灰	暗灰	rc2	固結した	10.70～10.95m所々砂と泥岩の互層状(5～10cm位ずつ、レバー感覚)。		500	8.15	50	3	50	3				
			暗灰	暗灰	rc2	固結した	11.45～11.90m砂と泥岩の互層状(10cmずつ、レバー感覚)多い。		167	9.15	50	9	50	9				
			暗灰	暗灰	rc2	固結した			188	10.15	50	8	50	8				
			暗灰	暗灰	rc2	固結した			125	11.15	32	18	50	12				
			暗灰	暗灰	rc2	固結した			150	12.15	50	50	50	10				

ボーリング柱状図については、国土情報データベースの一般公開資料です。(https://ngic.or.jp/)